

### 柴橋正直岐阜市長を表敬訪問



↑表敬訪問を受ける柴橋正直岐阜市長（写真中央）

6月20日、遠藤町長は柴橋正直岐阜市長を表敬訪問し、平成24年4月から継続して広野町に職員を派遣していただいていることへのお礼を述べました。

柴橋市長は、震災後も福島県に幾度も足を運んでおり、平成30年2月に第21代岐阜市長に就任しました。柴橋市長は「派遣職員が広野町の力になっていれば幸いです。今後も広野町への支援を継続するよう、しっかりと体制を整えていきます。」と述べられました。

### 沼津学園桐陽高校生徒が桜の植え替えと手入れ



↑桜の手入れに訪れた高校生ら

6月14日、静岡県にある学校法人沼津学園の桐陽高校1学年生徒70人が広野駅東側開発地区を訪れ、昨年植樹した桜の植え替えと手入れ作業を行いました。生徒らは昨年植樹した100本のうち、枯れてしまった苗木を植え替え、雑草の除去などに励みました。

また、植樹後は広野町公民館で広野町民約30人と交流し、震災当時や避難生活などの体験談を真剣に聞いていました。

### JR東日本水戸支社と広野駅周辺整備へ基本協定を締結



↑協定を締結した興石逸樹支社長（写真左）と遠藤町長（写真右）

6月18日、広野町はJR東日本水戸支社と広野駅周辺の整備に向け基本協定を締結し、遠藤町長と同社の興石逸樹支社長が協定書に調印しました。この協定は「未来のかけ橋」とホーム間結ぶ陸橋にエレベーター、西口駅前広場に公共トイレを設け、駅ホームと車両との段差解消などを図るためのものです。町と水戸支社は近く検討委員会を発足させ、コミュニティ施設併設などを含めた駅舎の整備のあり方などを盛り込む復興まちづくり計画の策定に着手する予定です。

### 高齢者運転免許証自主返納者支援事業に係るタクシー利用券交付式を開催



↑利用券を交付された豊島栄さん（写真左）

6月1日、4月に町と広野タクシー(有)が協定を結んだ広野町高齢者運転免許証自主返納者支援事業に係る自主返納者第1号となった豊島栄さんにタクシー利用券を交付しました。役場で交付式が行われ、遠藤町長から豊島さんに2万円分のタクシー券が手渡されました。遠藤町長は「幸せな生活を営んでほしい。」とあいさつを述べました。

### 天皇皇后両陛下が広野インターチェンジを特別行幸啓



↑広野インターを訪れた天皇皇后両陛下

6月10日、天皇皇后両陛下をお迎えして第69回全国植樹祭が南相馬市で開催されました。両陛下は植樹祭に先立ち、常磐自動車道広野インターチェンジ料金所で、広野、楡葉両町の町民20人の出迎えを受け、笑顔で町の様子などを尋ねられました。時折、住民らの口元に耳を近づけるなど熱心に話に聞き入れられました。

遠藤町長は「今春、ふたば未来学園高等学校の1期生が卒業し、新たな一歩を踏み出しました。」と紹介しました。

### 双葉地方町村会・双葉地方町村議長会合同要望活動を実施



↑吉野正芳復興大臣（写真中央）に要望書を提出

5月29日、30日、双葉地方町村会と双葉地方町村議長会は合同で、復興庁の吉野正芳復興大臣をはじめ、各省庁に対し要望活動を行いました。要望事項として、①避難地域の復興の実現、②復興推進体制の継続、③帰還困難区域の取扱い、④原子力発電所事故の収束と住民への迅速かつ正確な情報提供、⑤中間貯蔵施設および最終処分場の確保・整備、⑥復興に向けた人員確保、⑦イノベーション・コースト構想の着実な実現、⑧「福島12市町村の将来像」を踏まえた復興の実現、⑨双葉地域の医療提供体制の再構築と保健医療福祉人材の確保、⑩避難者に係る国民健康保険、介護保険などの支援制度の継続、⑪避難地域の教育環境の整備・充実、⑫双葉地方の復興に向けた道路・鉄道の復旧・整備などで、要望実現に向けて国の責務として対応するよう強く訴えました。

### 坂井学総務副大臣が来町



↑坂井学総務副大臣（写真左から2番目）に説明する遠藤町長（写真中央）

6月6日、坂井学総務副大臣が広野町を訪れ、開発が進む広野駅東側の広野みらいオフィスビルや建設中のふたば未来学園中高一貫校の寄宿舎、7月に一部再開するJヴィレッジなどを視察しました。遠藤町長は復興の進捗状況を説明し、応援職員の派遣や光回線の整備、テレビの難視聴対策の継続支援などの要望をしました。

### 広野町住民説明会を実施



↑住民説明会の様子

6月9日、10日、広野町中央体育館で住民説明会を実施しました。各課の課長が平成30年度の主要施策および重点事業について説明し、町民からは、Jヴィレッジ近くに建設中のJ常磐線新駅に関する質問などがあり、担当課長が詳細について説明しました。